7 種類　26 羽　のペンギンの赤ちゃんが誕生！

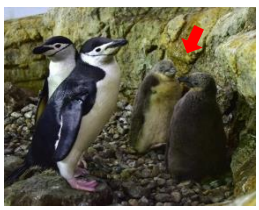
1 月はキングペンギンがベビーラッシュ

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、昨年 10 月から今年 1 月にかけて、7 種類のペンギンの赤ちゃん 26 羽が誕生しています。世界に生息するペンギン全 18 種の中で、最も体の大きなエンペラーペンギンをはじめ、1 月現在は 2 番目に体の大きな種類、キングペンギンの赤ちゃんが 2 羽誕生しベビーラッシュが続いています。キングペンギンは成長すると胸元や頭部の黄色い模様が大変色鮮やかなことから、世界で最も美しいペンギンといわれます。ペンギン王国にて、キングペンギンの子育てシーンを間近に観察できます。

ペンギン王国２階にて子育て中のキングペンギン　　2018年1月21日撮影

【2017年10月～2018年1月に誕生したペンギンの赤ちゃん】

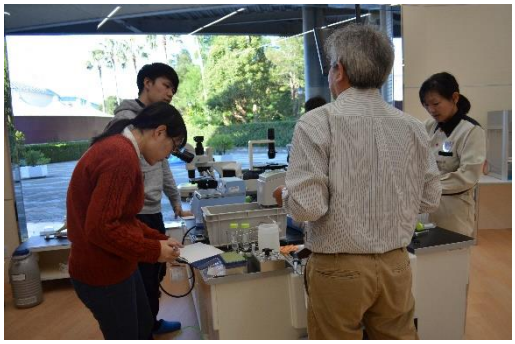
種類	キングペンギン	ジェンツーペンギン	イワトビペンギン	ケープペンギン
	2018.1.21 撮影	2017.12.24 撮影	2017.12.24 撮影	2017.12.24 撮影
誕生羽数	**2羽**	**6羽**	**2羽**	**2羽**
公開場所	ペンギン王国	ペンギン王国	ペンギン王国	アニマルランド横

種類	エンペラーペンギン	アデリーペンギン	ヒゲペンギン
	2017.12.24 撮影	2018.1.21 撮影	 2018.1.21 撮影
誕生羽数	**1羽**	**7羽**	**6羽**
公開場所	海獣館	海獣館	海獣館

【アドベンチャーワールド　ペンギンプロジェクト】

8種類400羽を超えるペンギンたちが暮らすアドベンチャーワールドでは、1978年の開園時にフンボルトペンギンとイワトビペンギンの飼育を開始し、1990年から自然界で暮らすペンギンコロニー(繁殖群)を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、1997年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。

そして現在、自然繁殖のみでは、特定の遺伝子に偏るなどの問題があります。遺伝的多様性を保持しながら長期に渡り個体群を維持するために、多種多様な種における人工授精技術が必要とされていることから、キングペンギンの人工授精の技術確立に向け、近畿大学生物理工学部（和歌山県紀の川市）と共同研究を行っています。　※今回誕生したキングペンギンの赤ちゃんは自然繁殖です。



近畿大学生物理工学部との共同研究 写真左はキングペンギンの精子採取シーン

〈キングペンギンについて〉

今シーズンは 2 羽の赤ちゃんが自然繁殖により生まれ育っています。

■分　類:ペンギン目ペンギン科
■学　名:*Aptenodytes patagonicus*
■英　名:King Penguin
■生息地:フォークランド諸島、サウスジョージア島などの亜南極圏
■食　性:アドベンチャーワールドでは主にホッケ、シシャモなど
■繁　殖:1 度の繁殖で 1 個の卵を産み、足の上にのせ腹部の皮をかぶせ 54 日前後抱卵。抱卵子育てはオス・メスが行う。
■寿　命:20~30 年
■特　徴:名前の由来はエンペラーペンギンの発見までは最も大きなペンギンとされていたことから、キング（オウサマ）ペンギンと名付けられた。頭や胸元の色がとても鮮やかなのが特徴。体長は 85~95cm、体重は約 15kg